

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
専攻実技 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	古峰拓真/杉山航平 川島基宏/須藤直也			実務 経験	有	職種	アレンジャー				
担当教員紹介											
アーティストやゲーム音楽、映像作品への楽曲提供に加え、楽器演奏やDJとしてステージに上がるなど各々が様々なジャンルにおいて活躍している。											
授業概要											
学内のライブイベント（Real Dreams、卒業ライブ等）に向けた楽曲制作、音源提出に向けた準備、卒業後のキャリアに向けての作品制作を行うことを目的とする。 2年次の卒業制作であるポートフォリオの作成を計画し、卒業展へ向けての準備を総合的に行う。											
到達目標											
前期は計画スケジュールの制作するコンテンツの立案から音源制作、後期は録音作業、ポストプロダクション作業を行い、作品発表まで実践する。年間を通して作成した音源作品、映像なども含めたコンテンツをポートフォリオとして作品集にすることを到達目標とする。											
授業方法											
それぞれの制作に合わせた年間の制作プランを自分で組み立て、進捗状況の確認、計画の見直しをしながら制作を行うスキルを身につける。 音源、資料を交えてのプレゼンテーションを行う。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
筆記用具、ノート(五線紙も含む)、データを記録する外付けHDD(SSD)、ヘッドフォン（必要に応じてミニステレオ→標準フォンプラグの変換）を毎回用意すること。また自分の制作しているマシンを持参できる場合は持参すること。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	2年次の年間の進行と卒業制作の概要を理解する										
第2回	ポートフォリオについての概要を説明										
第3回	年間の自分の制作スケジュールを立てる										
第4回	デモ音源制作と進捗確認、必要に応じて録音を行う										
第5回	音源制作と進捗確認、必要に応じて録音を行う										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
専攻実技 3	
第6回	録音された音源を細部にわたってチェックし編集作業を行う
第7回	提出音源制作と進捗確認を行う
第8回	ポートフォリオにどのような作品が必要となるのか、その提示方法を計画する
第9回	ポートフォリオ用の楽曲の各曲のクレジット等のコンテンツの作成
第10回	計画に沿って音源の制作を行う。進捗状況の確認、次週までの作業を確認する
第11回	各音源に関するブラッシュアップ作業を行う。レコーディングの準備（譜面作成、プリプロ音源制作）
第12回	卒業ライブに向けてのメンバー選出、リハーサルの段取り、メンバーとの打ち合わせを実施する
第13回	ライブに向けての具体的な演出を決定する。リハーサルの実施、サウンド面での修正も同時進行で行う
第14回	作品内容とどのようなポートフォリオを作成するかがわかるプレゼンテーションを行う
第15回	音源、資料を交えての中間プレゼンテーションを行う